

オオムラサキの飼育

一 鮫川小学校

鮫川村立鮫川小学校（校長小峰孟）児童数一九二名では、ここ数年来国蝶であるオオムラサキを初め、ゴマダラチヨウ、モンシロチヨウなどの飼育に取り組んできている。



レポート 学校から



県南教育事務所

木が昨年八月から外人教師を受けて入れられたのを機に村内各校では課外クラブとして英会話クラブを新設した。英会話クラブは、毎週一時限確保し指導を受けている。指導者（豪州人）が日本をよく知っている上、日本語が素晴らしい上手で会話指導もわかりやすく子どもたちは「すこし難しいけれどとても楽しい」とクラブの時間を待ち望んでいる。会話指導の合間に自國の生活ぶりや風俗習慣等についても触れてくれるので外国を肌で感じる好機にもなっている。当初、英会話クラブを導入することで戸惑いもあつたが英語に親しみ英語を話そうとする芽生えを見たことは実りであった。

するばかりでなく、増殖をはかり地域に放すことにより、自然の保全に役立つようとするねらいがある。学校では身近な観察・飼育ができるように、食草のエゾエノキを校地内に移植していく

るうちに、児童は決まった時刻にえさを食べることや生息場所によって体色が変化すること等を発見してきている。学校では、この活動を通じて、児童たちが、改めて郷土を見直し、誇りをもつて生活できるよう期待している。

国際交流の試み

泉崎村内小・中学校

村が昨年八月から外人教師を受け入れたのを機に村内各校では課外クラブとして英会話クラブを新設した。

英会話スクールは毎週一時限確保し、指導を受けている。指導者（豪州人）が日本語をよく知っている。

素晴らしい上手で会話指導もわかりやすく子どもたちは「すこし難しいけれどとても楽しい」とクラブの時間を待ち望んでいる。会話指導の時間に自分の

言ふて、会話指導の合間にEFLで生活ぶりや風俗習慣等についても触れてくれるるので外国を肌で感じる好機にもなっている。当初、英会話クラブを導入することで戸惑いもあつたが英語に親しみ英語を話そうとする芽生えを見たことは実りであった。



外国人指導による楽しい英会話

放送利用学習で友だちの「和」

—西郷村お母さんゼミナール教室—

「放送利用学習で、なんだろう」との不安をよそに、昭和六十年四月に
お母さんゼミナール教室として開講した

当公民館では、魅力ある婦人学級とは：と学習の仕方を再検討していく過程で、テレビ、ラジオ等の情報が多様化している社会状況の中で、放送の特

主体的な学習にするため運営はすべて学級生が行うよう指導している。学級生の募集は、村の広報機関であ

る有線放送を利用したりチラシ配布等

A black and white photograph showing five women in a room. Four women are seated around a table covered with a white cloth, while one woman stands in the background near a doorway. The room has a television mounted on the wall and a window with horizontal blinds.

「する学習」にお母さんたちが直面

書くことをを行うことにより、物の見方考え方、感じ方が変わった。人の前で話が出来るようになつた。友だちの和が広がつた等があつて大変好評のようである。放送利用学習を、日常生活に取り入れ更に展開している学級生が多くなってきた。

今年度は、自主グループ誕生へと発展するよう促進していきたい。